



## ハトの巣はどこにあるの

### ドバトは、駅、お寺、ビルなど

あちこちで、いちばんよく見かけるハトは、ドバトとよばれる種類です。野生のカワラバトが人家の近くにくらすようになり、人間に飼われて変化してきました。それが、野生状態で、町の中にくらすようになったものが、ドバトです。

町中にすむドバトは、駅、ビル、寺などの建物の、柱、屋根、のき下などや、すき間に巣を作ります。巣の材料には、ひもや針金、かれた小枝などを使っています。

### 野生のカワラバト

野生のカワラバトは、岩の多い川原にすんでいました。巣は、川の近くの、岩のがけなどに作ります。かれ枝や草の根などを集めた、皿形の巣です。くらしぶりも、ドバトとはちがっていて、木の枝にとまることは、ほとんどありません。

### キジバト

野生のキジバトは、木の枝の上に、かれ枝で皿形の巣を作ります。下から見ると、ところどころ、青空がすけて見えるような、そまつな巣です。雑木林の中にあるスギの木や、田畑に近い場所のスギ林が好きだそうです。

### シラコバト

埼玉県越谷市を中心とする林にだけ、すんでいる野生のハトです。数も少なく、天然記念物に指定されています。木の上に巣を作ります。（監修・今泉 忠明）

